

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和元年度第11回政策会議
開催日	2019年（令和元年）11月14日（木）8：30～：10：52
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長，小野副市長，宮治副市長，平岩教育長 （政策会議委員） 総務部長，企画政策部長，財務部長，防災安全部長，市民自治部長，生涯学習部長，福祉健康部長，保健所長，子ども青少年部長，環境部長，経済部長，計画建築部長，都市整備部長，道路河川部長，下水道部長，市民病院事務局長，消防局長，教育次長，教育部長，議会事務局長，監査事務局長，農業委員会事務局長，選挙管理委員会事務局長（欠席）
議 事	（1）議題（審議事項） 1 令和元年12月藤沢市議会定例会提出予定議案及びその他の案件について（総務部） 2 令和元年度12月補正予算概要（財務部） 3 令和元年12月藤沢市議会定例会常任委員会報告案件について（経済部，計画建築部，下水道部，福祉健康部，市民病院事務局，生涯学習部，子ども青少年部，総務部） 4 市民会館等再整備事業の進捗状況について（企画政策部） 5 藤沢駅周辺地区エリアマネジメントの準備状況について（都市整備部） 6 新たな納付環境の導入について（財務部） （2）報告・情報提供等 ア 地区賀詞交換会日程について（市民自治部） イ 2020年成人式の実施について（子ども青少年部）
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 （1）議題（審議事項） 1 令和元年12月藤沢市議会定例会提出予定議案及びその他の案件について <p style="text-align: right;">（説明者：総務部長）</p> □総務部長から，資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 令和元年12月藤沢市議会定例会に上程する予定議案について報

<p>内 容</p>	<p>告するもの。</p> <p>○記載の予定議案以外に給与条例関係の2議案について調整中である。追加の場合には改めて周知する。その場合は、議案番号も変更になるので、ご注意いただきたい。</p> <p>≪主な意見等≫ なし。</p> <p>≪結果≫ 了承。</p> <p>2 令和元年度12月補正予算概要 (説明者：財務部長)</p> <p>□財務部長から、資料1～2に基づき概要説明が行われた。</p> <p>≪内容≫ 令和元年度12月補正予算の概要及び事業の概要について報告するもの。</p> <p>≪主な意見等≫ なし。</p> <p>≪結果≫ 了承。</p> <p>3 令和元年12月藤沢市議会定例会常任委員会報告案件について ＜常任委員会報告案件(1)＞ 企業立地等支援施策の見直し(案)について (説明者：経済部長)</p> <p>□経済部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>≪内容≫ 企業立地等支援施策の実施経過と支援状況について説明するとともに、「藤沢市企業立地等の促進のための支援措置に関する条例」の適用期限が令和2年3月31日をもって終了することから、見直し案について報告するもの。</p> <p>≪主な意見等≫ ○資料2ページ(3)雇用人数に係る報告として新規雇用1,637人とあるが、藤沢市民の雇用はどれくらいか。また、資料3ページ2の企業立地等支援施策の見直し(案)で適用期限を5年間延長とあるが、税込への影響はどれくらいか。 ⇒藤沢市民の雇業者数については、671人である。税込への影響見</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>込額については把握できていない。</p> <p>○資料2 ページ(4) 支援措置の対象となったホテル2件はどこか。 ⇒対象は、ビックカメラ隣の「アルモントイン湘南藤沢」と東京電力向かい側の建設中のホテルである。</p> <p>○ビジネスホテルの稼働率はどれくらいか。 ⇒区分けはしていないが、平成30年度のデータとして、ホテル全体の客室稼働率が76.9%と把握している。ビジネスホテルに限ると、もう少し稼働率は高いかもしれない。</p> <p>《結果》 了承。</p> <p>＜常任委員会報告案件(7)＞ 市民病院の患者サービスの向上及び病院運営の強化等について (説明者：市民病院事務局長)</p> <p>□市民病院事務局長から、資料1～3に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》 市民病院が地域における基幹病院として、担うべき役割を果たし、持続的に病院経営を行っていくため、患者サービスの向上及び病院経営の強化等に係る取組と今後の方向性について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》 ○資料1の1ページ1(仮称)患者総合支援センターの4つの機能とあるが、入退院支援と医療・福祉相談の部分については、かなり一体的に機能していかなければ難しいと思うが、今までと何が変わるのか。また、MSWによる充実した相談ということは体制強化が前提になると思うが、令和2年度4月から増員を検討しているということか。 ⇒医療・福祉相談と退院支援の部分については、従来から地域医療連携室でその機能を担っていたが、入院支援の部分地域医療連携室が行っている業務と統合し、名称を(仮称)患者総合支援センターとするものである。入院時から退院困難な方へのアプローチが早くなることにより退院支援の強化になるものである。また、各種相談についても、一体的に取り組んでいく形となるので、強化につながっていくものと考えている。 ⇒特に増員はしないが、機能を整理することで、それぞれ集中的に対応するものである。</p> <p>○資料1の4ページ3行目に本年10月17日に資料2の報告書に</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>基づき「経営形態の検討について」藤沢市民病院運営協議会において諮った旨の記載があるが、資料2表紙の記載では11月となっている。この資料2の内容で諮ったのか。</p> <p>⇒資料2の記載誤りである。正しくは、10月である。</p> <p>○資料1の3ページ(4)については、考え方は理解するが、経営状況が上向きを前提としているということは、経営状況が厳しくなった場合については、どうするのか。</p> <p>⇒ご指摘のとおり、経営状況がずっと上向きということはありませんと考えている。長期的な視点なども含めて、経営形態に関する課題にしっかりと取り組み、新しい部署の設置など様々なことを検討していく必要があると考えている。</p> <p>○資料1の4ページ4病院運営の強化において、会計年度任用職員について記載があるが、病院職員はかなり勤務形態が複雑であり、この4月の実施は難しいのではないかと。現行制度の会計年度任用職員制度を適用すると運用が難しいのではないかと。</p> <p>⇒総務部と調整しており、原則は本庁と合わせるという考えのもと相談しながら進めている。人件費も上がっていることもあるので、費用面を考慮しながら進めていくものである。</p> <p>〈結果〉 了承。</p> <p>〈常任委員会報告案件(9)〉 第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画等の素案について (説明者：子ども青少年部長)</p> <p>□子ども青少年部長から、資料1～5に基づき概要説明が行われた。</p> <p>〈内容〉 第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画等の素案について報告するもの。</p> <p>〈主な意見等〉 ○これから資料についてはブラッシュアップしていくものと思うが、子どもの居場所づくり推進計画については、現在の取組が詳しく記載されているが、計画というには今後の方向性・考え方が十分見えていないかなと気になった。もう一つ、ヤングケアラーへの支援について、昨年度バックアップ藤沢、CSWなどが取り扱った事案のうち、50件中20件位がヤングケアラーに関する事案であると後から気付いた。ヤングケアラーの視点・支援を明確に入れたほうが</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>良い。</p> <p>⇒5年間の計画ではあるが、これで完成というものではない。ご指摘いただいた部分も含めて、2月に案をお示しする時に報告する。</p> <p>○ヤングケアラーについては、今、全国的に気付きのアセスメント指標をつくるような動きが国のほうである。これから益々強化されてくると思うので、早め早めに取り入れたほうが良い。バックアップ藤沢のアセスメント指標も少し直そうかと思っている。</p> <p>⇒その視点も含めて、今後検討させていただく。</p> <p>《結果》</p> <p>了承。</p> <p>4 市民会館等再整備事業の進捗状況について (説明者：企画政策部長)</p> <p>□企画政策部長から、資料1～2に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》</p> <p>平成30年11月開催の「藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会」において示した市民会館の建て替え方針に係る現在の進捗状況や今後の予定について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>○面積の取扱いについて、独り歩きしないようにとのことだが、資料3-3を見ると、市民活動推進センターの要望面積、現況面積の部分が「ー」となっていて、面積の記載の仕方が分かりにくい。また、あくまで検討中のものということだったが、今後どのように集約していくのか。考え方、スケジュールを資料の中で、明確にさせていただいたほうが良い。</p> <p>⇒複合化をこれから進めていくという中で、資料3-3の専用性の欄について部分を「専用」としているが、こういうものであれば共有してもいいのではないかと考え方を記載しており、これから精査していく。また企画政策課からも各課に対して再検討をお願いしているところもある。そうした点も踏まえて、次回、第3回目の会議を開催するので、その中で詰めていく。また、スケジュールについても、今年度内を目安として、どういう機能を複合化していくか詰めていこうと考えている。</p> <p>○今、お話しいただいた内容を資料に記載したほうがよい。先程、資料3-3で面積の記載方法で、例えば市民活動推進センターのところで要望面積・現況面積が「ー」となっていて、また見直し後の面</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>積として「720.00」となっているが、この辺りについても分かりにくい。</p> <p>⇒申し訳ない。たまたまこの市民活動推進センターについては、横側の「一」となっていて、また見直し後の面積として「720.00」となっているが、この「720.00」は合計面積を記載していただいている。左側の要望面積・現況面積部分については、合計面積を書かずに「一」としてしまっている。その辺の整合性が取れていなかったで、分かりやすいように修正する。</p> <p>○その合計と内訳が分かるように記載していただきたい。</p> <p>⇒そのように修正する。</p> <p>○これまでの議会の中でも言われているが、今、色んな地方都市を含めて複合化再整備をしている。その前提条件として人口減少していく中で、面積を縮小していくような再整備を相当意識している。今回の仕様では、その視点が意識はしているが、資料全体を見ると複合化によって、想定では面積そのものが拡大する可能性があるような見え方となっている。その辺をどう示していくのか、心配なところがある。</p> <p>⇒まさにそこが難しいところである。各部局への1回目の照会の際は、どういった機能を複合化したいかということをお聞かせいただいた。第1回目の会議での合計面積は、約3万㎡であったこともあり、各部局に面積の縮小に関して再検討を依頼した。各部局において、現状が手狭であり、建て替えるのであれば、今より広げたいという意識がある。それらをもう一度整理する必要があることと、共有できる会議室などは減らせると思うので、今後その辺を詰めていくことで、今以上に面積を減らしていくことが必要だと考えている。</p> <p>⇒補足すると、この資料をお示しすれば相当いろんな意見が出てくるのは容易に想像できる。報告する意図としては、藤沢市としてこんなに頑張りましたという結果だけを示すのではなく、庁内でこういう議論をしているという経過を見てもらうことによって、一緒に議論していただく、あれこれ言われることによってそういう意識を持ってほしい、そういう狙いもある。是非、岡主幹が言ったように、今手狭だから広げてほしい、だから要望しておこうという意識ではなく、先程、林総務部長がお話されたような視点での要望についても各部局でコントロールしていただきたいと考えている。是非よろしくお願ひしたい。</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>○複合化するという事で、直近だと鵜南小学校が複合化を行ったが、事業費が膨らんだということで色々ご指摘をいただいた。その例で見ても、複合化し利用は一体化したが、設備系は、管理上別組織が管理しなければならないとか、セキュリティ上は、入口を分けて設けなければいけないとか、そこに指定管理が入ることにより設備等が別になることで割高となる。構想の段階からそういうところの視点も踏まえて、進めていっていただきたい。</p> <p>⇒計画建築部にもプロジェクトに入ってもらっているので、その辺のご意見もいただきたい。また、Fプレイスや藤が岡二丁目再整備事業や鵜南小学校など、少しずつノウハウも蓄積してきており、それらを踏まえて進めていきたいと考えている。</p> <p>○今回サウンディング調査のことが記載されている。あまり馴染みがないところもあり、何となく民間の発意を引き出すというのは想像できるが、具体的にどういうものが出てくるのかよく分からない。資料に記載できる内容であれば工夫していただき、今、説明できるようであれば説明いただきたい。また、資料4で、それぞれのプロジェクト検討結果、市民の方の意見、サウンディング調査の結果、関係団体のご意見など、当然相反するものも出てくると考えるが、取りまとめをどのように進めていくのか。</p> <p>⇒サウンディングについては、現状具体的にお示しできるものがない。現時点で民間の皆さんが提供できるもの、参考となるご意見をいただいている状況である。例えば、大手ゼネコンや舞台関係など合計で26社である。関係団体については、確かに色んなご意見があり、企画政策課で集約しているが、基本的には4つの取組のご意見をまとまる形で報告したいと考えている。</p> <p>⇒資料では4つの絵で意見集約の流れを示しているが、市民ワークショップ、関係団体からの意見、庁内プロジェクトの結果、サウンディング調査ではこういうご意見が出てきたということは尊重し、（仮称）基本構想検討委員会で検討していきたい。</p> <p>○令和2年度に基本構想をまとめるときに一定の判断が必要というのは理解した。サウンディングについては、民間収益施設等について具体的なものはあるのか。</p> <p>⇒民間収益施設がどういったものがよいかで、例えば、マンションが確実だが、地区計画でマンションが建設できない。店舗ならどうなのかなど、いろいろと聞き取りをしている。</p> <p>○財政負担の観点で、現在の中期財政見通し5年では、見込めていな</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>い。その先、来年見通しを更新するとしても、令和9年度までの、プロジェクトの全庁に与える影響で、財政負担の検証も、財政課で音頭をとっていきたい。民間の活力を使って、ほとんどお金をかけない方法も、PPP、PFI含め、早めに検討し、いろいろな要素があると思う。5年間の中期財政見通しだが、この大きなプロジェクトを含めた見直しでの判断が必要となると思うのでよろしくお願ひする。</p> <p>⇒1年前の中期財政見通しでは、120億円は見込んでいる。それを上回る部分は現時点で判断できない。</p> <p>⇒私が申し上げているのは、令和5年度までの事業費が入っていないということ。120億円は持つだろうということで内部的には見通しは立てている。</p> <p>⇒120億円までは見込んでいるが、それを上回るものはわからないということから金額は示していない。面積について報告している。そういうことも含めて今後検討していくという報告である。</p> <p>⇒一般財源に影響を与えない範囲で、120億円の範囲内では実行できるという判断はさせていただいている。</p> <p>○南市民図書館の考え方で、資料3-2、3-3において有効面積と比較していく中で、ODAKYU湘南GATEでの面積や使い勝手などとの比較も必要になってくると思うが、その辺はどうか。</p> <p>⇒現在、南市民図書館は、仮設としてODAKYU湘南GATEで旧南市民図書館より小さい面積で稼働している。ODAKYU湘南GATEでは市民閲覧機能等のスペースを確保し、バックヤードスペースとしては旧図書館面積と比較し十分に取れていないことから、比較対象としては旧南市民図書館の面積としている。</p> <p>○今後財政負担の縮減の視点のほか説明できるよう、準備しておかないといけない。財政面でのいわゆる予算全体における本市の体力的な問題やホール自体の必要性、複合化することによる事業面のメリットと財政面のメリットが共存していかないと複合化は成り立たない。それらを含めると個々の精査と全体規模の両側面から捉えていただきたい。それらについて、財政と企画で考え方を答弁できるようにしていただきたい。</p> <p>○公共施設の再整備の根本的な考え方は、今までのやり方ではやっていけないから、合築や複合化により生み出された土地などは売却や有効利用をするということがコンセプトである。合築あるいは統合を申し出た所管部局は、跡地活用についても意識した上でエントリ</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>ーしないと無責任となりかねない。新たな機能を加える場合には、財源も一緒に提案しないとコストが増えてしまう。全体のコストの話は企画なりで答えるかもしれないが、個々のところは各所管部局で答えることも有り得るということを踏まえて認識をしてほしい。</p> <p>《結果》 了承。</p> <p>5 藤沢駅周辺地区エリアマネジメントの準備状況について (説明者：都市整備部長)</p> <p>□都市整備部長から、資料1～2に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》 藤沢駅周辺地区エリアマネジメントの準備状況について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》 ○指定管理者制度を導入するのに、条例を制定するという事は、この示された範囲は公の施設ということで取り扱うという認識でいいのか。 ⇒そのとおり。</p> <p>《結果》 了承。</p> <p>6 新たな納付環境の導入について (説明者：財務部長)</p> <p>□財務部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>《内容》 令和元年度第2回藤沢市税・料等収入確保対策本部会議(2019年10月10日開催)において確認された令和3年1月から導入を予定している新たな納付環境について報告するもの。</p> <p>《主な意見等》 ○税料等収入確保対策本部会議については、債権を有する所管部局長が委員であり、本議題を議論したが、IT環境や職員体制まで言及する内容を含んでいる全庁的なことのため、議題として提出した。 ○ペイジー納付、クレジット納付ということだが、基本的にはシステムはノンカスタマイズの方針がある中で、システムの改修が生じるのか。また、証明手数料のパスモやスイカなどの交通系電子ICカード等の検討状況について確認したい。</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>⇒現行のパッケージで、多様な納付環境の入り口が用意されており、カスタマイズは必要としない前提である。電子マネーは検討したが、動向をみると1回の決済金額が1,000円未満である。証明発行手数料で検討している。県においては、自動車税でLINEペイを実施している。</p> <p>⇒LINEペイについては、コンビニ収納コードを使用できるので、今後可能になる。</p> <p>○非常にいいことだと思う。市民からみると、遠藤の地域の縁側で、お年寄りがきて、楽しんでいて、慶応の学生もきて、お年寄りの方もスマホを使いたく、学生に教えてもらう講座の話がでた。スマホ、インターネットを使える支援や環境づくりも並行して考えてもらいたい。</p> <p>⇒十分検討していきたい。</p> <p>○これはここに載っている税料だけで、個別の手数料は別なのか。</p> <p>⇒個別の手数料等に関しては、含まれていない。場合によっては、体制を整えば、検討に加えることができる。</p> <p>○まずは税制課に相談でよいか。</p> <p>⇒市民センターの収納体制もある。税料等収入確保対策本部マターで調整かも含めて検討していく。</p> <p>〈結果〉 了承。</p> <p>(2) 報告・情報提供等</p> <p>ア 地区賀詞交換会日程について (説明者：市民自治部長)</p> <p>□市民自治部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>〈内容〉 令和2年地区賀詞交換会の開催日程について情報提供するもの。</p> <p>〈主な意見等〉 なし。</p> <p>イ 2020年成人式の実施について (説明者：子ども青少年部長)</p> <p>□子ども青少年部長から、資料に基づき概要説明が行われた。</p> <p>〈内容〉 20歳を迎えた方・迎える方が、社会人としての自覚を高めるよう、</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>新成人を祝う集いを開催し、式典と記念事業を実施することについて情報提供するもの。</p> <p>《主な意見等》</p> <p>なし。</p> <p>4 その他</p> <p>○災害対策特別委員会について、台風19号及び21号の対応等について報告する。15号から一連の災害ということで12月補正に向けて調査をさせていただいたが、これだけ大きな被害が出ていることを踏まえて、補正だけでいいのかというご指摘もあり、ある程度全体的なことを報告する必要があるだろうと認識している。今後こういうスーパー台風が頻発することを想定して、市民意識として命を守るという意識付け、これまでの内容では対応できないので、今回のことを踏まえて見直すところは見直し、新しいことも加えるということも含めて、委員会を開かせていただくこととなった。各部門に協力いただき、資料作成できた。会派からの意見は共有するが、急遽、議会報告するのでよろしくお願いしたい。</p> <p>5 閉会</p>
------------	--